

早稲田大学が授業の一環として農作業を体験

< 新潟県 >

| | |
|--------------------|--|
| 市町村・集落の名称 | 十日町市蒲生地区 |
| 協働の相手（企業や大学等）の名称 | 早稲田大学 |
| 仲介者・コーディネーターの名称 | (有)松代早稲田協力会 |
| 協働のポイント | 地元の方が元々早稲田大学と交流があったので好意的であり、特に問題は無かった。 |
| 協働のきっかけ ・経緯 | <ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学の郊外施設が同地区に存在するため。 ・平成16年に学校側が農山村体験実習の実習地を探しており、松代地域に話があったので受け入れた。 |
| 取組の具体的な内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年：早稲田大学が授業の一環として蒲生地区で田植え、稲刈りを実施し、以降毎年続いている。毎年春に田植え、秋に稲刈りを体験実習として実施。 |
| 農村地域への効果 | 交流により地域が元気を出している。 |
| 都市部の主体（企業や大学等）への効果 | 学生が農村や農業に興味を持ってくれた。 |
| 仲介者等の役割 | 大学側からの話をこちらに連絡してきた程度で、段取りは行政が中心に地元と協議のうえ行った。 |
| 今後の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢化による影響で受入がいつまで出来るか不明。 ・受け入れ側の負担が大きくなっていないか。 ・相手方も補助金等を使っているのがなくなるとこの事業は打ち切られることも考えられる。 |
| 関連事業（国・都道府県等） | 中山間直接支払集落協定の契約の一環 |

(活動状況写真等)

